

ハンフォード市訪問団派遣事業に参加をして

高橋 実都理

10月11日から20日までの10日間、本当に有意義に時間が過ぎて行ったように感じます。高校生の時に、ハンフォード高校との交流が始まりホストファミリーで高校生の受け入れをしたり、ハンフォードの訪問団と一緒に温泉に入ったりしてから15年。自分が訪問することは、「ないだろう...」と思っていたのですが、今回職場の協力があり、晴れて参加することができました。

霧が見えなかったゴールデンゲートブリッジ、監獄のリアルなアナウンスに脅えてしまったアルカトラズ島。サンフランシスコに着いてからは、夢の中にいるような感じでした。バスの中からの景色は、見たこともない枯れた草原。瀬棚を出た時は、「これから紅葉！」という時期だったのに、枯れた草原には何だか悲しい気持ちでした。あとで聞いたら、2月になると新緑になるとのことだった。この枯れた草原が新緑になる景色も見てみたいな....。



一番の楽しみは、ホームステイ先のフクダファミリーに会うことだった。ずっと我が家の事を気にかけてくれていたフクダファミリー。そんなフクダファミリーに会うのは何年ぶりかな～？と思い返すのがやっとだった....。シビックパークに着くと、以前私がプレゼントをした“アンパンマンのエプロン”を着て、ボートを漕ぐオールに“MIDORI”と書いてあるのがすぐに目についた。誰よりも目立っていたフクダママ！すごく嬉しかった。その時の写真を撮り忘れてしまったことに、いまさら後悔している。ここから、私の幸せな日々が改めてスタート！英語が全くと言っていいほど話せない私。パパとは流暢な日本語で会話をし、ママとは片言の日本語+私の通じているのかわからない英語。息子さんのAaron夫妻とToddとは、ほとんど英語。出来の悪い私に、いろいろと親切に説明してくれたことに感謝している。そしてなによりも、自分の誕生日会をサプライズでやってくれた。もともとハンフォードでの最後の夜で、お客さんが来ることは知っていたが、なぜか誕生日会になっていた。ケーキにプレゼントまで準備されてあったのには、涙がこぼれそうだった。10月が誕生日というだけでここまで準備をしてくれたことが嬉しかったし、初めてだった。





ハンフォードでのプログラムは、移動距離が何キロになったのだろうか？

一日目はくるみ・アーモンド・ピスタチオの農場&工場。チーズファクトリー。デリーファーム。料理教室でのランチと盛りだくさん。

ピスタチオ・アーモンドの収穫はとても楽しかった。行き先々で、味見をしたのは言うまでもない。木に生っているのを、ひとつ拝借してくれて食べた「ピスタチオ」

は新鮮で食べたことのない“食感”だった。デリーファームでは、ダイスキな牛ということもあり少々テンションが上がったが、頭数の多さ、トラクターの大きさ、敷地の広さ、牛の乳の張り具合に開いた口がふさがらなかった。Toddにうちの牛舎を見せたところ、「小さいね」と笑われた。アメリカの人からすると、うちはペットみたいなものだからな...と納得。

一番の反省は、その日の夜の“フレンドシップパーティ”での事。成人訪問団で出し物をしようと、練習をしたのに私のピアノで台無しに...ないことに、緊張をしてしまった。初めてピアノの音が全く取れなくなったのだ。みんなは気にしなくていいよ！と言ってくれたが何とも後味の悪い結果になってしまったのだ。出来ることなら、やり直したい。



二日目は、市役所、新聞社など少々かきこまったところに行った。市役所では、瀬棚から持って行った雛人形が飾ってあり、雛人形の由来について、説明をしてしまった。ここでようやく、私の職業が役に立った瞬間だった。そして“タチホテル”の客室巡りはとても楽しかった。宿泊をされるお客様が、また来たいと思うサービスがあちこちに見られた。いつも旅行をしても安いホテルばかりに宿泊をしているから、そんなことを思うのかな。タオル、トイレトペーパー一つ一つが宿泊しても使うのに、困っちゃうくらいとてもおしゃれだった。人生で初めてのカジノにも行ったが、やり方を理解する前に終了してしまった。

三日目・四日目はホストファミリーとの時間。前日に、海に行きたい！と言ったら、2時間かけて“Morro”にある別荘に連れて行ってくれた。しかも、1泊して洗濯をしたり、買い物をしたり、海岸に行ったりあちこち連れて行ってくれた。行く途中に、毎晩ビールを飲んでいて私にと、ビール工場に寄り道をしてくれた。4種類のビールを昼間から美味しくい



ただいでしまった。パパには「マタ！ビールノンデル?!」と言われてしまう。たしか Obispo にある有名な“splash cafe”というお店に行った。そのクラムチャウダーがとてもおいしかった。行列のできるお店とのことだったが、私達が行った時は待つこともなくお店に入ることができた。

Morro 岩の近くまで行き、野生のラッコを見ることもできた。この時、カメラを別荘に忘れたので、ラッコを見たが証拠がない。

お別れの日、感謝の気持ちを言葉でできないと確信していたので、折り紙でハートの形を折りメッセージを添えて渡した。今度会う時までにはトラクターの運転の練習をして来てね！と笑顔で言われたが、あんなに大きなトラクターなら免許から取り直しのよう気がする。できることなら居残りをしたかったな。カッコいいパパの車で聞いている曲は“北島三郎”、料理上手であつという間に何品も作っていた元気いっぱいのママ、ビール好きの私にたくさんの種類のビールを用意してくれた優しい Todd。私を受け入れてくださり、ありがとうございました。



この10日間で何か急に変わることはないが、少し広い視野で物事を考えるようにしようと心に決めました。時間に縛られることなく、ゆったり・のんびりするのもいいことだな・・・と感ずることができた旅になりました。

旅行会社の森さん、現地ガイド&通訳の三浦さん、木元さん。個人的に私の通訳をしてくださりありが

とうございました。木元さんには、LA 空港まで配達をさせてしまうといつてもないことを…。ありがとうございました。

今回の旅を一緒に行った、高野教育
長・鶏入会長さん始め、楽しい仲間の皆
様。高校生より騒いでしまい、申し訳ご
ざいませでした。やかましい旅になっ
てしまったことを反省いたします。でも、
いつも笑顔の絶えない旅になったこと
は、皆様のおかげです。これを機会に皆
様で交流を深めて行けたらな...と思っ
ています。



旅に携わった、すべての皆様に感謝致します。

